

妻ヶ丘中学校だより

令和4年5月24日 校長 深江 祐史

雨のため一日順延となりましたが、5月22日（日）本校にとって、大きな行事の一つである令和4年度第76回体育大会が行われました。例年と違って5月開催で準備期間が短かったこと、コロナ禍の影響で様々な制約があったこと、雨続きの天候で運動場を使えない日が多かったこと等、生徒にとっては非常に厳しい状況でしたが、本校の生徒は実にたくましく、逆境の中でも様々な工夫をして、各団のリーダーを中心に今年の体育大会をつくり上げました。当日の様子を少しだけご紹介します。



雨のため一日順延となりましたが、5月22日（日）本校にとって、大きな行事の一つである令和4年度第76回体育大会が行われました。例年と違って5月開催で準備期間が短かったこと、コロナ禍の影響で様々な制約があったこと、雨続きの天候で運動場を使えない日が多かったこと等、生徒にとっては非常に厳しい状況でしたが、本校の生徒は実にたくましく、逆境の中でも様々な工夫をして、各団のリーダーを中心に今年の体育大会をつくり上げました。当日の様子を少しだけご紹介します。



【エール交換】

練習期間が短かったため、心配していたのですが、実にすばらしかったですね。3団それぞれ違った型で、太鼓に合わせてビシッと決まっていました。エール交換の最後に3名の団長から学校に対するエールがあり、校長が目の前でエールを受けましたが、本当に壮観でした。（思わず、エールを返そうかと思いましたが、見苦しいのでやめました）

赤団団長：谷ヶ久保 琉（たにかくぼ るい）さん、青団団長：児波 諄宥（こなみ あつひろ）さん、白団団長：竹田 麗加（たけだ れいか）さん、バッチリでした。とても良かったです。



【学級対抗リレー】

学級対抗リレーは、各学年6クラスの選手が同時にトラックを走る競技で、その中でめまぐるしく順位もかわるため、予行の際に今、どの学級がどこを走っているのか分かりづらいとの意見をいただいていた（例年であれば、選手はクラスごとに決まった色のビブスを着回して走るのですが、コロナ禍のため着回しができない）



そこで、せめて、最後の体育大会となる3年生だけでも、と体育科の先生方のネットワークを使って、急遽、中郷中と三股中からビブスを借りて3年生全員分を準備、本番はそれを着て走りました。観戦されていた保護者の方からも好評でした。（さすがに全校生徒分を準備することはできませんでした。1,2年生の皆さんごめんなさい）

優勝した1年1組、2年4組、3年2組のみなさん、おめでとうございます！

※ 本部テント前で、他の団の選手と交錯してメガネが飛んだ選手が、すぐにメガネを拾って、全力で前の選手を追いかける姿・・・カッコよかったです。

【団技】

各学年、非常にユニークな団技で、チームワークが要求されるものばかりでした。

1年生の「グレートパッション台風2022」（昭和の時代は「台風の目」？）でしたが、少しでもタイムを縮めるために中心と外側の歩幅を工夫するなどの工夫が見られました。



※生徒が棒を持った際に密にならないよう、生徒が棒をつかむ部分が指定（棒にテープが巻いてある）されていました。1年生の先生方の細かい配慮に感謝。withコロナですね。

2年生の「和をもって尊しとなす!長縄(和)」は、縄を飛ぶ人数が少しずつ増えていく長縄飛びで、特に最後の7人跳びは、見ていて美しかったですね。1位のクラスは、かなり練習したのでしょうか?そんな時間はなかったと思うのですが・・・素晴らしいチームワークでした。



※最後になってしまった赤団の飛ぶ回数を全校生徒で数えた場面は感動的でした。（つい、応援したくなりますよね）

そして3年生の「左コン太郎」。これを体育大会で見たのは初めてでしたが、(昔、大人のイベントで見たところがあるような…) 体力だけでなく、知力とバランス感覚そして2人のコンビネーションが求められる競技。必死になるからこそ生まれるちょっと笑える場面も楽しく、大いに盛り上がりました。

※右写真のようにこんなに高く上げる組もありましたが、キャッチする側も大変でしたね。

ただ、どの学年の団技も予行よりも数段レベルが上がっていたのが、さすが中学生と思いました(大人だと、こうはいきません)

団技優勝した1年1組、2年1組、3年6組の皆さん、おめでとうございます!



【団対抗リレー】

さすが、全校生徒641名の中から選ばれた6名の健脚自慢。トラックが狭く感じるほどのスピード感でした。(足が速いというのはうらやましい) 優勝した白団、おめでとうございます。



【サンバヤッサ】

予行では見られなかったもので、初めて拝見させていただきましたが、とても楽しそうに踊る3年生の姿を見て、こちらもとてもうれしくなりました。また、3学年PTAで揃えていただいたTシャツも色鮮やかで見栄えがして良かったですね。

義務教育の段階で、ふるさとの踊りを踊る、覚えるというのは、大人になった時、結構役に立つものなのということは、多くの大人が実感していることです。本部テント前の最後の全員の決めポーズと笑顔はとてもすてきなものでした。



以上、体育大会の様子の抜粋でした。今回の体育大会は、入学以来、コロナ禍の影響で様々な制約を受けてきた3年生のためにと、1,2年生、職員、PTAが協力して思いをこめて進めてきました。中学生最後の体育大会が、多くの3年生の思い出の残るものになったとしたら幸いです。役員をしてくれた生徒や生徒会、吹奏楽部を含め、皆さん本当にお疲れ様でした。

なお、今回、体調不良等で参加できなかった皆さん、残念だったと思いますが、次の機会でもまた仲間と一緒に頑張りましょう。皆さんの中学校生活は、まだまだこれからです！

<大会の裏側では・・・>

前日の夕方と当日の朝、そして大会終了後、複数の部活動の皆さんに協力をもらい、準備・片付けを行いました。もちろん本来ならば、生徒全員でやるべきことなのですが、雨天順延の中でスクランブルの対応をお願いしました。全てのプログラムを予定通り実施できたのは皆さんのおかげです。感謝いたします。

なお、前日まで雨天が多く、気温が低い日が続いていたのですが、当日は一転晴天。コロナ感染と同時に熱中症が心配されました。予防のため、生徒のテントの後ろに、消毒液、塩分チャージタブレット、OS-1を準備。また、入場門にはミストを設置しました。

当日のグラウンドは、午前10時30分には気温30度を超えましたが、熱中症等を訴える生徒は「0」であったことをご報告しておきます。(気温は高かったけど、5月の湿度は低い！)



予行、本番の2日間、速見医院、東小、泉ヶ丘高校には駐車場をお貸しいただきました。ありがとうございました。